

(3) 北海道地域包括・在宅介護支援センター協議
会第2回代議員総会 [3月10日(木)]について
(林常任理事)

今年度事業と会計収支の状況報告があり、引き続き、来年度事業計画(案)と会計収支予算(案)について協議を行った。その後、任期満了に伴う役員の改選があり、会長に藤原副会長、幹事に小職が再任された。

(4) がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン
評価委員会 [3月15日(火)]について
(小熊副会長)

第2期4年目となる今年度事業概要について報告があり、事業実績に対する事業評価を行った。その結果、一部の事業についてその実施の必要性が指摘されたものの、総合評価はおおむね順調に進んでいるとなった。

(5) 第2回北海道がん対策推進委員会 [3月16日
(水)]について(長瀬会長)

がん検診の受診促進と精度向上のため、4つ目の専門部会として、がん検診専門部会の設置を決定した。その後、がん登録専門部会の開催状況、国の動向(がん対策加速化プラン)、来年度の北海道の主ながん対策について説明を受け、了承した。

(6) 第10回北海道いじめ調査委員会 [3月17日
(木)]について(北野常任理事)

当該校の事案について、現状と問題点を確認した。次回委員会では他県の参考事例を提示し、今後の進め方について検討する。

10. 中央情勢報告(笹本常任理事)

「保健医療2035提言について」

塩崎厚生労働大臣の私的懇談会が提言した「保健医療2035」は、2035年の保健医療政策ビジョンを策定するもので、私的懇談会でありながら、大臣の強い指導力のもと厚生労働省内に実行推進本部が設置された。提言では、保健医療のパラダイムシフトを中心に、医療は量から質へ、患者の価値を中心に医療技術評価の導入と医療の低コスト化、総合的な診療医師がゲートキーパーとなりフリーアクセスを見直す、医療費適正化計画による給付範囲を見直すなど、財務省主導が伺える、医療費抑制政策が強く打ち出されていることを小職より説明した。

11. 各部報告

(1) 当会の医療事故調査等相談窓口対応状況について(水谷常任理事)

3月8日から3月21日までに、当会相談窓口において当番の役員が直接対応した案件が無かったことを報告した。また、相談窓口役員対応マニュアルの暫定版を作成し配付した。

北海道医報へのご投稿等について

◇広報委員会◇

北海道医師会では、会員の皆さまから「学術投稿」「会員のひろば」等各種原稿を下記要領にて募集しております。是非ともご投稿いただきたくお願い申し上げます。

なお、写真作品のご投稿につきましては、ホームページに「フォトギャラリー」を設けておりますので、ご応募ください。

投稿要領

1. 原稿の締切

毎月10日までにいただいたものは原則として翌月号に掲載となります。ただし、「会員のひろば」については、受付状況により掲載号を決定します。

できるだけメール等の電子メディアでお寄せください。

2. 原稿の体裁と字数制限

- (1) 原則として横書きといたします。
- (2) 引用文以外は、すべて当用漢字、現代かなづかいを使用してください。
- (3) 誤字、脱字、明らかな間違い等は広報委員会において訂正いたします。
- (4) 1回の掲載紙面は、原則として2頁を限度とします。

医報1頁は約2,200文字です。ただし、タイトル、写真、図表等を含んでおりませんのでご考慮ください。

- (5) 長文原稿および連載物は、広報委員会にて採否決定の上で分割掲載、掲載号等を決めさせていただきます。

3. 原稿の訂正、返却

次の場合は、広報委員会の決定に基づき、執筆者に対し訂正を求めるか、または返却いたします。

- (1) 特定の個人・団体を誹謗、中傷する内容
- (2) 匿名の投稿
- (3) 本誌以外に既掲載のもの、あるいは投稿中のもの(二重投稿)
ただし、特に必要と認められる場合はこの限りではない

- (4) その他掲載に支障がある内容

4. ホームページへの掲載

特にお申し出のないかぎりホームページに掲載されますので、予めご了承ください。

連絡先：北海道医師会事業第一課
TEL 011-231-7661 FAX 011-252-3233
E-mail: ihou@m.douji.jp